

学校名 いちき串木野市立羽島小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>平成11年から海岸清掃活動に継続的に取り組み、地域の環境美化に大きく貢献してきた。取組を通して児童が自然の豊かさを学び、自己の生活に生かすことにつながる体験的な学びがカリキュラムに位置付けられている。</p> <p>また、海上保安庁や地域住民と連携することで、地域一丸となった環境美化活動が実現している。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度  ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>当該校は、海に近い立地条件を生かして、稚魚の放流や磯遊び等、様々な海での活動が多い。その際、ナイロン袋やペットボトルといったプラスチックゴミが海岸に多く見られたため、故郷の海をきれいにすることを目指して、この海岸清掃活動に取り組んでいる。</p> <p>3～6年生までは、総合的な学習の時間「ふるさと羽島を体験しよう（漂流物調査）」、1・2年生は創意「海辺で遊ぼう」を活用して、海岸清掃を実施している。</p> <p>開始年月日は、平成11年5月28日</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>海岸清掃 「ふるさと羽島を体験しよう」</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>5～6月の大潮の日に実施（年間1回） R6は5月24日（金）に実施</p> <p>【関連する活動】 （資源再利用） 保護者、教職員、児童が参加（年3回） （稚魚の放流） 漁協と連携して稚魚の生育に関する講話後、稚魚を放流（年1回） （総合的な学習の時間） 「地域ボランティアをしよう」のテーマのもと、羽島漁港の清掃活動を実施（中学年・年1回）</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	羽島海岸 (薩摩藩英国留学生記念館周辺)
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	70人程度 (児童・教職員・海上保安庁職員・地域住民含む)
⑥ 活動1回当たりの平均時間	1時間程度
⑦ 収集物の処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別して収集</li> <li>・海上保安庁の職員による処分</li> </ul>
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<p>海上保安庁職員による環境美化に関する話及び寸劇を鑑賞し、その後、全員でゴミ拾いに汗を流している。</p> <p>ゴミ収集後、地域の人と一緒にきれいにした海辺で貝拾いや魚釣り体験を実施し、故郷の海の豊かさを体験している。</p>
(3) 地域への貢献度	
① 地域の環境美化への貢献	<p>海岸に落ちている様々なゴミを拾うことで故郷の海をきれいにしている。身近には、観光地である薩摩藩英国留学生記念館があり、美しい景観維持にもつながっている。</p>
② 地域住民との協力活動	<p>地域の高齢者クラブ(浜友会)の方々と共に実施している。保護者も活動に参加し、親子とのふれあいの場にもなっている。</p>
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<p>海に面している校区のため、地域住民も魚釣りや、貝拾い等、海で過ごす時間も多く、児童によるこの海岸清掃は大変喜ばれている。</p> <p>また、地域の方々との交流の場にもなっていて、毎年この活動を楽しみにされており、高齢者の生きがいにもつながっている。</p>

項 目	活動内容等
<p>(4) 環境教育との関連</p> <p>① 環境教育と活動との結びつき</p> <p>② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化</p> <p>③ 当該活動以外の環境教育実践活動</p>	<p>各学年における環境教育の目指す子供の姿</p> <p>(低学年部) 自然にふれ、自然や生命を大切にできる子供</p> <p>(中学年部) 身の回りの資源やエネルギー、ごみなどについて意識できる子供</p> <p>(高学年部) 自分と環境の関わりについて考え、環境への関わり方について実践できる子供</p> <p>児童自ら海岸に落ちている様々なゴミを拾うことで、故郷の海をきれいにし、環境を守っているという自覚や達成感が見られる。 この海岸清掃を通して、環境問題に気付き、自分自身の生活を見直すきっかけになっている。</p> <p>(資源再利用) 資源再利用に小中一貫で取り組み、保護者、教職員と一緒に児童も積極的に参加している(年3回)。</p> <p>(稚魚の放流) 漁協と連携して稚魚(ヒラメと真鯛を隔年)の生育に関する話を聞き、実際に放流した(R6年5月)。</p> <p>(総合的な学習の時間) 「地域ボランティアをしよう」というテーマのもと、中学年が羽島漁港の清掃活動を実施した(R5年5月)。</p>
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)</p>	<p>(受賞年月日) 令和2年7月25日</p> <p>(表彰機関名) 海上保安庁</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p>1・2年生…創意</p> <p>3～6年生…総合的な学習の時間</p>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>地域の環境問題や身近な自然や環境について調べたり、実際に活動をしたりすることで自然環境を守るために自分はどうしたらよいかを考えることにつながっている。特に、海辺の学校ということもあり、海の自然環境問題については、意識が高まっている。</p>

## 海岸清掃・海辺で遊ぼうの様子



現在の海の状況や漂流物の説明（串木野海上保安部）



ゴミ拾い・漂流物の確認や振り返り



海での体験活動（釣り、貝拾い、蛸・エビとりなど）

## 海岸清掃・海辺で遊ぶの感想

- 劇で海のことを教えてもらえて勉強になった。
- 岩やテトラポットの間にごみがたくさんあった。
- 去年よりゴミが減っていてうれしかった。
- これからは、ゴミのない海岸になってほしい。
- 「ミナ」という貝がたくさんとれて、うれしかった。
- 魚をとろうとするとにげられて、むずかしかった。

## メディアによる取材



(R6 KYT 鹿児島読売テレビの撮影と放映)



(R6 5月29日付 南日本新聞への掲載)



(R5 釣り雑誌「南のつり」(9月号)への掲載)